



総合トップ > 食品・農業・環境 > カルピスと愛媛大、希釈して飲む「カルピス」の生活習慣が高齢者のQOLを改善、公衆衛生学会で発表

カルピスと愛媛大、希釈して飲む「カルピス」の生活習慣が高齢者のQOLを改善、公衆衛生学会で発表

2014年11月13日 18:20 (1pt)

河田孝雄

Twitter いいね! 0

カルピス発酵応用研究所は、希釈して飲む乳酸菌飲料「カルピス」を1日1杯、作って飲む生活習慣を導入すると、高齢者のQOL(生活の質)が改善することを、愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生・健康医学分野との研究協力によって見いだした。2014年11月5日から7日に宇都宮市で開催された第73回日本公衆衛生学会総会で、カルピス発酵応用研究所の内田直人アシスタントマネージャーが発表した。アサヒグループのカルピスは、「カルピスQOLメディアセミナー」を11月13日に都内で開催し、試験責任医師を務めた順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学の谷川武教授(愛媛大学教授から2014年4月に異動)ら4人が発表を行った。

この調査は、愛媛県越智郡上島町にある6つの有人島のうちの1つ岩城島の住民や、特定非営利活動法人しまの大学(愛媛県越智郡上島町、村上律子代表理事)の協力を得て、2013年8月から2014年1月まで行われた。愛媛大学附属病院臨床研究倫理審査委員会の承認を得てUMIN登録をして実施された。対象者は岩城島在住の118人。年齢は56歳から94歳までで平均71.4歳だった。

カルピス30mLを自分で150mLに希釈して1日1杯、継続して8週間飲んでもらったところ、健康関連のQOLを評価する調査票SF-8の8つの尺度のうち、精神面のQOLを中心に複数の評価項目において有意な改善(スコアの上昇)が認められた。改善したのは「全体的健康感」「心の健康」「日常役割機能(精神)」などの項目だ。調査に参加した118人は全員が飲用期間8週間の前に非飲用期間8週間を設け、そのうち78人が飲用期間8週間の後にも非飲用期間8週間を設けて比較した。SF-8の調査は4週間ごとに実施した。また、精神健康度(精神健康調査票GHQ12項目版)や幸せ度(VAS法)、体調アンケートを8週間ごとに実施し、有意なスコアの向上や改善を認めた。

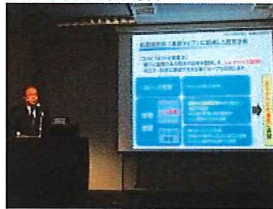
カルピスでは、独自の乳酸菌を活用した乳酸菌飲料について、発酵過程で作られる機能性成分や、発酵で生まれる香りの研究などを進めている。

カルピスは谷川教授とは2012年から共同研究を開始し、まずは2012年に愛媛県の岩城島で60歳以上の33人の参加を得た予備調査で、高齢者のQOLを改善できる可能性を見いだした。この成果は、2013年10月の第72回日本公衆衛生学会で発表していた。

愛媛県の上島町は高齢化率が40%を超えている高齢化先進の自治体。住民1人当たりの医療費は愛媛県で1番多い。産業・地域の活性化に向けて、愛媛大学と連携協定を締結しているため、カルピスの調査研究のフィールドに選ばれた。

谷川教授は2014年4月に愛媛大教授から順天堂大教授に異動したため、今回の成果は「共同研究」ではなく「研究協力」という位置付けになった。

11月13日のセミナーでは、カルピス発酵応用研究所の宮崎博所長と内田AM、順天堂大の谷川教授、しまの大学の兼頭一司COY(最高執行役員)の4人が発表を行った。兼頭COYは愛媛県丹原町(現西条市)の出身。東京大学経済学部卒業後、凸版印刷でITベンチャー事業「Bitway」を立ち上げて運用し、05年に松下政経塾に入塾。08年に同塾卒業後に上島町の弓削町へ移住した。08年10月に島民70人の出資のもと、島民の島民による島民のための会社「しまの会社」を設立し、2011年にNPO法人しまの大学を立ち上げた。兼頭COYは今回の研究を「産島学連携研究」

兼頭一司氏
画像のクリックで拡大表示谷川武氏
画像のクリックで拡大表示内田直人氏
画像のクリックで拡大表示宮崎博氏
画像のクリックで拡大表示

検索

→ 日経バイオテクについて

→ 購読・メルマガお申し込み

お知らせ

『日経バイオテク』最新号・11月10日号 目次
分子生物学会の会場でアンケートを実施します
12月5日: 中国・ASEAN進出セミナー開催
12月10日: ゲノム情報セミナー開催決定
『バイオ年鑑2015』予約申込受付開始!
「Webマスターの憂鬱Premium」新企画始まる

ライブWebinar タンパク質SEC分析の 効率化

凝集体解析に役立つ最新ソリューション
12月17日(水) 15:00~16:00

詳細はこちら

日経バイオテクONLINE アクセスランキング

	昨日	週間	月間
1位	ディナベック、臨床向けのiPS細胞作製用センダイウイルスベクターの製造を開始		
2位	日経バイオテク11月10日号「特集」、「カルタヘナ法」カタルシス		
3位	日経バイオテク11月10日号「業界こぼれ話」、どうなる? テルモとセルシードの...		
4位	富士フイルムが中計を発表、ヘルスケア分野で更なるM&Aの可能性も		
5位	富士フイルム、アビガンの臨床試験は年内に終了予定		
6位	日経バイオテク11月10日号「キーパーソンインタビュー」、リボミックの中村義一...		
7位	タカラバイオ、HF10のウイルス治療とNY-ESO-1を狙うTCR遺伝子治療の...		
8位	バイエル薬品、オープンイノベーションセンター設置の狙い		
9位	自家免疫細胞療法のお話、米Dendreon社が経営破綻		
10位	米Idera社、Toll様受容体アゴニストのフェーズI開始へ		

と名付けた。

希釈して飲むカルピス1杯分の市販価格は20円から30円程度。1日1杯の習慣が高齢者のQOL改善に役立つという今回の成果は、世界に先駆けた高齢化が進んでいる日本において、今後大きな意味を持ちそうだ。この成果を受けて、カルピスでは、首都圏の地域でも同様の介入試験を実施すべく、準備を進めている。

関連記事

カルピスと愛媛大医、乳酸菌飲料の継続飲用と交流の場設置で高齢者のQOL向上、公衆衛生学会で発表 (2013-10-30) [1pt](#)

東海大とキリン、プラズマ乳酸菌で風邪対策、657人の成果を公衆衛生学会で発表 (2014-11-5) [1pt](#)

記者発表、カルピス株式会社平成19年12月期 第1四半期財務・業績の概況 (2007-4-27)

カルピス、L-92乳酸菌配合の「守る働く乳酸菌」を9月17日発売 (2013-8-29) [0pt](#)

記者発表、カルピス、中間業績予想の修正に関するお知らせ (2007-8-1)

カルピス、阪大ほか、発酵乳の長期飲用による睡眠改善効果を学会発表、未発酵乳に比べ「心の健康」を有意に改善 (2006-7-4) [1pt](#)

カルピス、米国Monsanto社にラクトトリペプチドの使用を許諾 (2000-1-20) [1pt](#)

記者発表、カルピス、平成18年12月期第3四半期財務・業績の概況(連結) (2006-11-1)

皆のホームページ、北里大学公衆衛生学教室、情報更新 (1999-12-9)

記者発表、カルピス株式会社社会計監査人の選任に関するお知らせ(変更) (2007-3-7)

 アドバンテック株式会社

研究者をお探しの法人様へ

分野別ランキング (週間)

	医薬・医療	基礎・研究支援	食品・農業・環境	投資・行政・社会
1位	日本初の細胞医薬JR-031、本承認に立ちほだかる95%信頼区間の壁			
2位	東大吉村講師に聞く、再生医療新法の美容外科への影響は？			
3位	日経バイオテック11月10日号「編集長の目」、臨床試験という創薬の壁			
4位	日経バイオテック11月10日号「キーパーソンインタビュー」、ロボミックスの中村義一...			
5位	日経バイオテック11月10日号「業界こぼれ話」、どうなる？ テルモとセルシードの...			
6位	武田薬品工業と英GE Healthcare社、肝疾患における治療薬と診断技術の...			
7位	Merck社、抗PD-1抗体ペンブロリズマブに関する複数の臨床試験の結果を学会...			
8位	成育医療センター、国内初の慢性肉芽腫症に対する遺伝子治療を実施			
9位	バイエル薬品、オープンイノベーションセンター設置の狙い			
10位	Pharmidex社、血液脳関門を通過する薬剤送達技術を用いて脳腫瘍モデルでの...			

→ バイオ事業のご案内

→ 広告お問い合わせ

テーマサイト

日経バイオテックONLINE アカデミック版
日経バイオテックONLINE 機能性食品版
日経バイオテックONLINE 環境・農業版
日経バイオテックONLINE for Investors
日経バイオテックONLINE Webマスターの憂鬱 Premium
日経バイオ年鑑2014
日経バイオ年鑑2013

会社案内 個人情報保護方針/ネットにおける情報収集/個人情報の共同利用 著作権について 広告ガイド お問い合わせ ご利用ガイド 利用規約

© 1996-2014 Nikkei Business Publications, Inc. All Rights Reserved.

日経BP社



総合トップ > 食品・農業・環境 > カルピスと愛媛大医、乳酸菌飲料の継続飲用と交流の場設置で高齢者のQOL向上、公衆衛生学会で発表

カルピスと愛媛大医、乳酸菌飲料の継続飲用と交流の場設置で高齢者のQOL向上、公衆衛生学会で発表

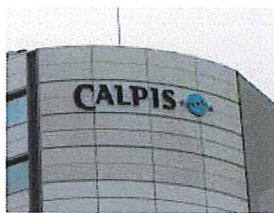
2013年10月30日 15:45

河田孝雄

Twitter

いいね！

0



画像のクリックで拡大表示

カルピス発酵応用研究所は、愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生・健康医学分野(谷川武教授)との共同研究により、乳酸菌飲料の継続飲用と飲用をきっかけとした交流の場を設けることにより、高齢者の生活の質(QOL)の向上につながる可能性を見いだした。2013年10月23日から25日に三重県津市で開催された第72回日本公衆衛生学会総会で発表した。

今回は、50年後の日本の高齢者比率に近いとされている愛媛県越智郡上島町の岩城島の住民と、特定非営利活動法人しまの大学(上島町、村上律子代表理事)の協力を得て、高齢者を対象とした乳酸菌飲料の継続飲用による心身の健康度への影響について、健康関連QOL尺度SF-8や体調アンケートを用いた予備調査を実施した。

調査対象は、岩城島に住んでいる60歳以上の男女33人で、調査期間は2012年10月2日から11月27日。希釈タイプの乳酸菌飲料(カルピス)を自身で希釈して調製し、1日1杯(150mL)を8週間継続して飲用してもらい、2週間ごとに参加者全員が集まる集会を開催し、体感効果などを話し合うコミュニケーションの場を設けた。評価は飲用開始時と4週後、8週後に実施した。

その結果、調査開始時と継続飲用8週後の比較において、SF-8の尺度では「心の健康」で有意な改善が認められ、「全体的健康」「活力」「日常役割機能(精神)」で改善の傾向が認められた。また、精神面の総合的な指標である「精神的サマリースコア」で改善の傾向が認められ、特に精神面のQOLについて向上が示唆された。

カルピスは、2012年にアサヒグループホールディングス(HD)の傘下になった(株式売買契約の締結は2012年5月、株式買収手続きの完了は2012年10月2日)のを受け、カルピスの広報機能は2013年9月からアサヒグループHDに集約された。アサヒグループHDのアサヒフードアンドヘルスケアが2013年3月からシュガーレスミントタブレット「ミンティア」やグミのカルピス味を発売するなど、アサヒグループHDではカルピスブランドの展開を広げている。

関連記事

カルピスと愛媛大、希釈して飲む「カルピス」の生活習慣が高齢者のQOLを改善、公衆衛生学会で発表 (2014-11-13)

カルピス、プロバイオティクス乳酸菌飲料トクホは6月登場 (2011-5-16)

カルピス、阪大ほか、発酵乳の長期飲用による睡眠改善効果を学会発表、未発酵乳に比べ「心の健康」を有意に改善 (2006-7-4)

乳酸菌飲料が記憶力と集中力を改善、カルピスと中部大がハワイのISNFFで発表 (2012-12-11)

アサヒグループホールディングス、カルピス株式会社の株式買収手続きの完了のお知らせ (2012-10-2)

カルピス、「カルピスキッズ」で同社初の乳酸菌トクホ、トクホ総数は251 (2001-4-19)

記者発表、カルピス、中間業績予想の修正に関するお知らせ (2007-8-1)

記者発表、カルピス株式会社平成19年12月期 第1四半期財務・業績の概況 (2007-4-27)

カルピス、米国Monsanto社にラクトトリペプチドの使用を許諾 (2000-1-20)

皆のホームページ、北里大学公衆衛生学教室、情報更新 (1999-12-9)

検索

[→ 日経バイオテクについて](#)[→ 購読・メルマガお申し込み](#)

お知らせ

『日経バイオテク』最新号・11月10日号 目次
分子生物学会の会場でアンケートを実施します
12月5日：中国・ASEAN進出セミナー開催
12月10日：ゲノム情報セミナー開催決定
『バイオ年鑑2015』予約申込受付開始！
「Webマスターの憂鬱Premium」新企画始まる

M Amicon® Ultraシリーズ
10周年サックスキャンペーン

アミコンウルトラ-2希望販売価格21,000円が **50% OFFの10,500円**

- ・親水性が高い
…タンパク質極低吸着
- ・スキン層が緻密
…分子を確実に捕捉
- ・熱溶着による一体成型
…ろ液への溶出を低減

[▶ 詳細はこちら](#)

メルク株式会社メルクミリポア事業本部
www.merckmillipore.jp

日経バイオテクONLINE アクセスランキング

	昨日	週間	月間
1位	ディナベック、臨床向けのIPS細胞作製用センダイウイルスベクターの製造を開始		
2位	日経バイオテク11月10日号「特集」、「カルタヘナ法」カタルシス		
3位	日経バイオテク11月10日号「業界こぼれ話」、どうなる？ テルモとセルシードの...		
4位	富士フイルムが中計を発表、ヘルスケア分野で更なるM&Aの可能性も		
5位	富士フイルム、アビガンの臨床試験は年内に終了予定		
6位	日経バイオテク11月10日号「キーパーソンインタビュー」、リボミックの中村義一...		
7位	タカラバイオ、HF10のウイルス治療とNY-ESO-1を狙うTCR遺伝子治療の...		
8位	バイエル薬品、オープンイノベーションセンター設置の狙い		
9位	自家免疫細胞療法のお話、米Dendreon社が経営破綻		
10位	米Idera社、Toll様受容体アゴニストのフェーズI開始へ		